

## 1. 調査目的等

小学校1年生から6年生の児童の学力を把握・分析し、学校における教育指導の成果と課題の検証やその改善に役立てる。

## 2. 学校ごとの指標

### 【中期目標・指標】

- NRTアンダーアチーバー 7%  
令和5年度の全国調査の標準化得点:国語104 算数102 以上

### 【短期目標・指標】

- NRTアンダーアチーバー 10%  
令和3年度の全国調査の標準化得点:国語102 算数100

## 3. 指標にむけての取組

- ねらいを明確にした授業の実施
- 重要単元における取り組み  
(全学級における算数科の複数体制・分割授業による指導の実施)
- NRTの結果を受けてのアシストシート(個人・学級を含む)の完全実施
- 補充学習(重要単元テスト85点未満児童の再テスト、複数体制による朝の活動の実施)
- 1年生からのきめ細やかな言語指導(MIMの実施)
- 家庭との連携による週末も含めた家庭学習の習慣化(10分×学年+10分)
- 土・日の10分読書
- 主題研修(ICT等の効果的な活用)を中心とした研究授業実施
- 朝の活動「言葉・算数・読書・漢字」タイムの充実

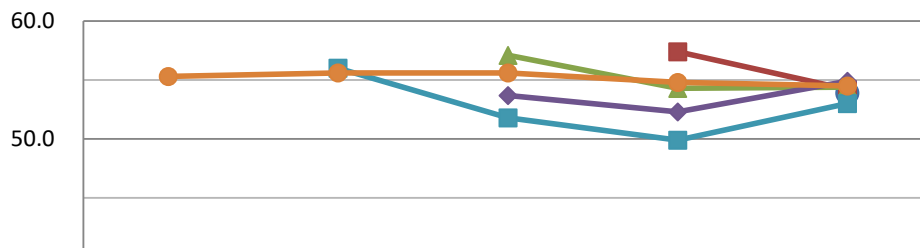
## 4. 調査結果

※学校平均5年間の推移

(標準偏差値50に対して)

年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
本校(A)	53.7	54.9	53.8	53.3	54.0
嘉麻市(B)	50.7	51.5	51.4	51.1	50.9
(A)－(B)	3.0	3.4	2.4	2.2	3.1
標準偏差値との差 (A)－(50)	3.7	4.9	3.8	3.3	4.0

## 各学年の推移



	28年度実施	29年度実施	30年度実施	元年度実施	2年度実施
2年度1年生					53.9
2年度2年生				57.4	54.2
2年度3年生			57.1	54.3	54.4
2年度4年生			53.7	52.3	54.9
2年度5年生		56.0	51.8	49.9	53.0
2年度6年生	55.3	55.6	55.6	54.8	54.5

## 5. 各学校における分析

○ 全校の結果は、全国平均を4ポイント上回っている。昨年と比較すると、国語科では1ポイント、算数科では0.8ポイント高くなっている。またアンダーアチーバーの児童が7%減少していた。このことから、算数科重要単元における複数体制や、習熟場面において複数体制を生かした基礎・基本の定着、また研修の日常化による指導の取組が一定の成果を上げ、有効だったと考える。

今後も実態をしっかりと分析し、児童の力が発揮できるように、専科教員を重要単元において配置し、複数体制による少人数分割授業など、きめ細やかな個に応じた取組の工夫を継続していく

## 6. 各学校における今後の取組

### 【日常の授業や学校生活における取組】

- 指導方法の工夫を今後も継続し、重要単元における複数体制を実施し、学力基盤づくりを目指す。(専科・補助教員の有効活用、授業形態の工夫)
- 朝活動を計画的に行い、複数体制による「算数タイム」で、NRTでの苦手分野に取り組むなど、基礎基本の定着を図る。
- 個人・学級アシストシートの活用を図り、弱点を補充する。
- 授業に目的・観点・方法を明確にした書く活動・交流活動を多く取り入れ、ねらいを明確にした授業づくりを行う。
  - ・書く視点をしぼり、自分の考えを理由や根拠を示しながら書き、交流につなげる。
  - ・学習のまとめやふり返りを、次の学習に生かせようとして視点を設け書かせるようにする。
- 主題研修を中心として、ICT等の効果的な活用について研修を進める。

### 【家庭との連携】

- NRTの結果の公表を行い、これまでの取組とその成果、今後の課題を共有し、家庭学習の習慣化・個別化についての協力を求めていく。
- 週末も含め、家庭学習の習慣化(10分×学年+10分)の達成率95%以上を目指す。
- 土・日の10分間読書の取組を推進していく。

## 7. 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

◎今後の取組を具体化し推進できるように、特に次の3点について指導助言及び支援を行うとともに、周知徹底できるように継続的に指導する。

◆嘉麻市学力向上全体構想に設定した学習評価からの授業づくり(指導と評価の一体化)や思考を伴う「書く活動」を核とした授業づくりの推進する。そのために、校内研修での授業観察指導を実施したり、「書く活動ポイント9」や「GoTo授業づくりチェック20」を活用できるように指導助言や支援を行ったりする。

◆嘉麻市学力向上推進員会に基づく学力向上検証委員会を開催し、単元テスト評価後の個に応じた習熟度別指導を取り入れた指導方法の工夫を推進する。そのために、習熟度別指導の単元づくりや個に応じた補充プリントの活用の仕方について指導する。

◆嘉麻市学力向上全体構想に設定した「家庭学習の取組」を推進する。そのために、個に応じた学習課題の提示を進めるとともに、自学の習慣化に向けた具体的な取組を提示したり各学校の取組のよさを交流する場を設定する。